

## 長浜市森林ディレクション審議会（令和3年度第1回）議事要点録

○日時：令和3年6月29日(火) 13:30～15:40

○場所：長浜市役所1階 多目的ルーム4

○出席者：委員：8名(敬称略)

会長：滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授：高田 豊文

委員：長浜市伊香森林組合森林整備課長：小谷 茂喜

委員：鳥居木材株式会社代表取締役：鳥居 憲治

委員：滋賀県湖北森林整備事務所林業振興係副主幹：北村 晶子

委員：小谷丁野町里山づくり委員会会長：中島 勘一

委員：LLP木民代表：東 逸平

委員：山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事：長澤由香里

委員：滋賀県猟友会長浜支部長：内海 來

委員：公募市民：大塚 修

欠席：公募市民：隅田 あおい

市(事務局)：6名

産業観光部：内藤正晴管理監

農林政策課：土田孝洋課長代理、中川奈々主事

森林田園整備課：今荘和則課長、横田茂隆課長代理、木口英之副参事

○内容

1. 開会

2. 委員紹介

➤ 各自、自己紹介

3. 議事

(1) 会長、副会長について

➤ 委員の互選により、会長は高田豊文様、副会長は鳥居憲治様とする。

(2) 長浜市森林ディレクション審議会の役割について

(事務局)

➤ 審議会規則第2条に基づき、長浜市森林ディレクション審議会の役割を説明。

(委員)

➤ 質疑なし。

(3) 本年度の審議内容について

(事務局)

- 1. 長浜市森づくり計画掲載事業の令和2年度取組内容について
- 2. 長浜市森づくり計画の改定について
- 2. については、国の「森林・林業基本計画」「全国森林計画」変更を受け、県計画の「湖北地域森林計画」が改訂されるため、本市の計画についても、国及び県の上位計画との整合性をとるため、改定を行うことを説明。

(委員)

- 質疑なし。

(4) 長浜市森づくり計画掲載事業の令和2年度進捗状況について

(事務局)

- 令和2年度の施策進捗状況について説明。6つの基本施策の達成率評価をまとめた。

【 評価報告：基本施策① 森林の大切な啓発と魅力の発信 】

(委員)

- 「ジュニア長浜学」は、講師の都合により今年度未実施だが、今後の方針はどう考えているのか。

(事務局)

- 所管課では続けたい意向はあるものの、コロナ禍で事業自体のあり方も含め、見直している。

(委員)

- 今年度、市産材木製おもちゃの提供施設については目標達成したが、今後はどうするのか。

(事務局)

- 所管課で今後の取組について検討している。

【 評価報告：基本施策② 市民の協働による森林づくり 】

(委員)

- みどりの里親制度について、植樹した樹木本数の目標値は100本だが、令和2年度の実績は1本という意味か。令和6年度までに100本を目指すのであれば、年間20本で評価した方がいいのではないかと。

➤

(事務局)

- 令和2年度が初年度であるが、目標値は計画期間内の累計である。今年度は植樹会がコロナの影響で未実施となり、1本の実績となった。指標については、

検討する。

(委員)

- 今年度、コープしがとのパートナー協定が切れるが、延長するのか。

(事務局)

- 新規の場所であれば、延長する。

(委員)

- 目標値が累計となっている箇所は、累積に対する評価・年度毎の評価と併記すればどうか。

(事務局)

- 併記する形で検討する。

(委員)

- 予算の規模なども分かった方が良いので、施策毎に予算も記載してもらいたい。

(事務局)

- 予算を記載することでイメージが掴みやすくなるのであれば、来年度より記載する。

#### 【 評価報告：基本施策③ 次代の森林を支える人づくり 】

(委員)

- 桜並木の保全数は累計よりも単年度の指標の方がわかりやすいのではないか。

(事務局)

- 累計と単年度で、併記する形で検討する。

(委員)

- 林研グループ会員数は平成 30 年度時点で 74 名だが、令和 6 年度までに 75 名にすることが目標なのか。1 人増やすことよりも、現状をどう維持していくのか支援すべきではないか。

(事務局)

- 指標設定当初、会員を増やすことが必要だと考えていたが、現状は維持することも困難。今後の指標作りの参考にする。

(委員)

- 地域おこし協力隊の任期は 3 年だが、常時 4 名を維持することが目標なのか。

(事務局)

- 指標は累計である。新たに人数が増えれば、実績として追加される。

(委員)

- 講師派遣回数 15 回、桜並木保全数 750 本の目標はどういった理由で決まったのか。

(事務局)

- 平成 30 年度時点の実績に基づき、設定した。

## 【 評価報告：基本施策④ 森林資源の利用拡大 】

(委員)

- 市産材木材利用支援について、業者側に助成金やメリットはあるのか。

(事務局)

- 個人に対する支援で業者への助成金はない。6月末時点で既に6件の申請がある。支援方法については、今後検討する。

(委員)

- 対象は新築の木造住宅に限られるのか。

(事務局)

- 令和2年度より増改築も対象とし、内装材での使用も対象とした。

(委員)

- 市産材を活用した公共施設建築について、今後の建築計画が未定とのことだが、どうするのか。

(事務局)

- 今後は、既に建設した校舎等のリニューアルも考えられるので、そこで活用できないか等も検討する。

## 【 評価報告：基本施策⑤ 効率的な木材生産 】

(委員)

- 搬出間伐面積、集約化施業累計数について、頑張りが数字として表れていない。市として取り組むべきことを数値化し評価してほしい。

(委員)

- 林道維持増進工事は、限られた予算だと思うので、市としてどう維持管理していくのかしっかり考えてほしい。

(事務局)

- 検討する。

(委員)

- 高性能林業機械導入は既に目標達成しており、指標としてどうか。

(委員)

- 高性能林業機械は必要なものであり、今後、壊れることもある。

(事務局)

- 指標について、検討する。

(委員)

- 素材生産性は、木の大小で変わるので指標としてはどうなのか。人材育成の方が重要ではないか。

(事務局)

- 指標について検討する。

## 【 評価報告：基本施策⑥ 環境に配慮した多様な森林づくり 】

(委員)

- 巨樹・巨木保全見学ツアー等を行う団体への支援は来年度より県が執行するが、評価対象から外すのか。

(事務局)

- 件数の把握はできるが、削除するか、把握のみとするかは検討する。

(委員)

- 松くい虫被害対策の対象地は今後もないのか。

(事務局)

- 現状、把握していない。

(委員)

- スギ・ヒノキ等の人工林におけるテープ巻きの実施面積が極端に減少しているのはなぜか。

(委員)

- 令和2年度より、指定テープが生分解性のものになり、価格が5倍となった。一方で、補助金の単価は変わらなかったため、テープ巻自体をやめる業者が増加したため。

(事務局)

- 令和3年度より、市単で追加補助を行うので、持ち直すことが期待される。

(委員)

- 環境林整備事業について、造林公社管理地が含まれていないが、含めないのか。

(事務局)

- 市では把握ができない。

(委員)

- 地先が長浜市なので、含めてはどうか。県では把握している。

(委員)

- 間伐、環境林の面積も関わってくる。

(事務局)

- 市行政としてどうするか、検討する。

## 【 その他 】

(委員)

- 育てる、伐採する、植林する、と循環するように計画や目標を立てるとよい。これら循環に関する評価は何かあるのか。

(事務局)

- 造林については把握できていない。指標等について今後検討する。

(委員)

- 平成 31 年度の森林経営管理制度について、余呉で調査されているが、今後の意向調査や調査結果について、審議会で報告されてはどうか。

(事務局)

- 森林マッチングセンターで意向調査を行っている。検討し、報告する。

(委員)

- 山林について、森林組合で集約化が進んでいるが、所有者不明の山の境界等、地籍測量が必要。

(事務局)

- 山林に接する宅地の地籍測量を行う際に合わせて行う等は可能だと考えられるので、担当課と協議する。

#### 4. その他

- 意見・提案シートに記入いただいた意見は、共有する。
- 次回の審議会は、11月16日(火曜日)10時からで予定している。

#### 5. 閉会